

自分らしく働きたい母親を応援する事業

【団体名】NPO法人 子育て応援クラブむくむく

【担当部署】市民生活部 市民活動推進室

【提案型】自由テーマ

【協働の形態】補助

1. 事業の目的

自分サイズで働きたいと思う女性・子育てをきっかけに家庭に入った女性の再チャレンジとエンパワメントを支援する事を目的とする。

2. 実施内容

起業を目指す女性のためのフェスティバル開催

日時：26年1月19日（日）10:30～15:30

会場：くるる文化ホール

内容：■起業講演会 10:30～11:30

「自分らしさをいかした働き方のコツ」

講師：滝田加奈子

■起業体験ブース＝見本市（19ブース）

■起業相談デスク（9組）

■パネルディスカッション

「子育てしながら働くとは」

パネラー：小松夢華・原りゆうこ

陶川民恵・おかもとひろこ

■ステージ発表

担当：カルチャースクール smile

内容：リトミック・ベビーダンス・

肩こり腰痛改善ストレッチ

※会議室にて子ども一時見守りサービスの実施

出店者向け事前説明会開催

10月30日（水）17名参加

出店者交流会

11月13日（水）14名参加

12月20日（金）7名参加

出店者フォローアップ（複数回メールなどにて）



起業講演会



起業体験ブース（見本市）



パネルディスカッション

実行委員会議 (計5回)

- 9月9日(月) 第1回 4名参加
 - 10月2日(水) 第2回 5名参加
 - 11月6日(水) 第3回 5名参加
 - 12月4日(水) 第4回 5名参加
 - 1月14日(火) 第5回 2名参加
- その他、メールにて打ち合わせ多数回

実行委員反省会 (1回)

- 2月4日(火) 5名参加

関係者反省会・交流会 (1回)

- 3月5日(水)

- ・アンケートの実施 (出店者・来場者)
- ・その他 (会場打ち合わせ、下見など複数回)



3. 役割分担

- (1) 団体：企画・運営・全般
- (2) 市：広報

4. 事業費と主な支出内容

- (1) 事業費：総額 282,570 円 (うち蕨市協働事業補助金 256,130 円)
- (2) 支出の主な内容
会場借上代、保険料、消耗品費、印刷製本費、講師謝礼、人件費 (託児スタッフ・実行委員)

5. 協働による効果

【NPO法人 子育て応援クラブむくむく】

協働での実施により、蕨市民に広く広報できたため、蕨市内の起業家や起業を考える人たちの発掘ができ、接点を持つことができた。また、今回の協働事業の提案がきっかけとなり、蕨市市民生活部商工生活室主催の「コミュニティ・ビジネス講座」の対象者を「女性」に限定して、本事業と連携して行うことができた。その結果、女性の起業の実現に向けた機運がさらに高まることとなり、講座修了者の間でメーリングリストが立ち上がるなど、今後につながる動きが出てきた。

【市民活動推進室】

いままで行政主催で行われてきた事業とは異なる雰囲気、おしゃれで自由でパワーあふれる新鮮なイベントとなり、対象者のニーズにマッチしていたと思う。団体から協働事業の提案があった際、市の担当部署をどこにするか調整する過程で、商工生活室とつながりを持つことができ、それぞれの事業を連携して行うことができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【NPO法人 子育て応援クラブむくむく】

フェスティバル来場者数：講演会70名 見本市200名強。

多くの方にフェスティバルの開催を認知していただくことができ、会場に足を運んでいただくことができました。フェスティバルに参加していただくことで、自分サイズで働きたいと思う女性や結婚や出産を機に仕事を離れた女性の再チャレンジの方法の1つである「起業」について知ってもらうことができました。具体的には先輩ママ起業家による起業講演会の内容が良かったとの感想が多く、「今後の参考になった」「自分が今後取り組むべきことが分かった」などの感想が届いている。起業相談デスクも予約で満席となり、フェスティバルの趣旨に沿った仕事の仕方を求める女性が多いことがうかがえた。大きなイベントでありながら個別相談を設けることで、きめ細やかな対応をすることもできた。

出店ブース・ステージ発表を目的に来場される方も多数いた。フリーランスにはどのような職種があるのか、また、どのように活動されているのか興味をもって来場されている方も多く情報を提供することができた。「色々なブースを体験できて楽しかった」「今後の参考になった」「今後機会があれば自分も出店者側になってみたい」など、起業を目指す女性のニーズに合ったイベント展開ができたと考える。

出店者は、初めて出店経験をする方も多くメールや交流会でフォローを行った。準備等手間取ることもあったようだが、体験する事で今後にかける経験ができたと思われる。「準備が思いのほか大変だったが、メールで対応してもらうことでストックの準備などイメージすることができた」「沢山の方にご意見ご要望をいただき今後の作品作りの参考になった」「お客様との交流ができて対応の仕方を学べた」「他の起業ママとの交流ができ良かった」今後も今回のようなフェスティバルに参加したいかの問いに、90%が「はい」と答えていた。フェスティバルに参加し、聴く・見る・体験することで、起業がより現実的になった。女性が持っている特技や趣味をいかして働くと言うことがより身近に、具体的に変わったフェスティバルであったと思われる。

【市民活動推進室】

今回の事業は、起業へのきっかけづくり事業であるので、ぜひ、来年度は、実際に起業につながるような事業を行いたいと思っている。蕨市の起業を希望する女性の夢が実現することを目指したい。また、今回の協働事業により、商工生活室と横の連携が図れたことで、働く場における男女共同参画の推進が今後一層進むことが期待できる。市民団体との協働と並行して、行政内部の横の連携も進めていきたい。